

発表会が終わってから数週間。

子供たちの発表会の熱はまだ冷めておらず、充実した時間として心の中に残っています。

今、（子供たちは大きな舞台を経験したことで）もっともっとやりたいという意欲が高まり、体験を活かした子供たちの工夫やアイデアが取り入れられた“発表会ごっこ”が展開されています。



子供たちと一緒に当日の舞台の様子をビデオを見ていた時のことです。はじめは他学年の演目の映像が流れているのを黙って見ていました。ところがその後、自分たちの演目の映像が映り始めると、すくっと立ちあがって、ビデオの中の自分と一緒にハーモニカを持って（エアハーモニカ！）演奏し始めました。ニコッと笑顔で、私に「見て見て」と訴えかけるように！その姿から、改めて子供たちは心から発表会が楽しいと感じていたのだなとうれしくなりました。

CDデッキを自分たちで操作して（子供たちが操作しやすいようにデッキにシール等で順番をしめてあります）そこから流れるハーモニカ曲に合わせて、指揮をしたり、鍵盤ハーモニカを吹いたり、自分がやりたい楽器で演奏を楽しんでいる子供もいれば、いろいろな役に代わる代わるなりきって舞踊劇を最初から最後まで踊ったり、照明の光を再現しようと透明のビニールやセロファンを探して実験を始めたり、一人一人が新たなアイデアや工夫をして、活動を楽しんでいる様子が見られます。



また、絵に思い出を表していく中で「ここに〇〇ちゃんがいる、ここに私がいて・・・」「ねえ、ここにいたのはだれだっけ？」「え、〇〇くんだよ」「あーそうだ！」「あれ？もうかけなくなった！」「先生、画用紙ちょうだい！もう少し描きたいんだよ！」と自分を含めた周りのお友達を描きはじめて止まらなくなって、画用紙をつなぎ合わせて3枚の大作を



描きあげていた子もいました。「発表会の時は縄が引っかかって、二重跳びできなかったんだよ」と言って、引き続き縄跳びの技に一人で黙々とチャレンジしている姿もありました。発表会の舞台が次のチャレンジに向かう一つのきっかけになったんだと、改めて感じました。

発表会という舞台が楽しかったという思いで、子供たちはこんなにも自分の気持ちを周りの人へと伝えていたり、表したりしています。発表会を通して子供たちはこんなにも豊かに成長するのだなと気づかされました。

発表会が大成功につながったのも、ご家庭で発表会の演目の曲に触れたり、発表会の話題に触れたり…ご家庭でも発表会に向けて、様々な取り組みやご協力をいただいたからです。本当にありがとうございました。

